

# サマーキャンプ中学生の翼

たくさんの体験・思い出とともに帰国

小野町では、国際化時代に対応する人材の育成を目的として、中学生の海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」を実施しています。

16回を迎えた今年には、団員15名・引率者3名の18名が、7月28日から8月6日までの10日間にわたり、アメリカ合衆国ニュージャージー州グリーンロック町でのホームステイ、ニューヨーク州ヒルトップ町でキャンプ活動を行ってきました。

初めての外国での生活を送りながら、ホームステイでの英会話やキャンプ活動での集団生活の実践をとおして、貴重な体験を積んできました。

団長ならびに団員の帰国報告を紹介します。

## 第16回「サマーキャンプ

### 中学生の翼」帰国報告

団長（教育委員会教育課長）

鈴木 澄夫

サマーキャンプ中学生の翼は、中学生を海外に派遣し生活習慣や文化、言葉を学び体験を通じて国際感覚を養い、心豊かな人間形成をはかることを目的に実施されております。

本年度のサマーキャンプ中学生の翼は、町内中学2年生15名（男子生徒7名、女子生徒8名）、引率者3名により、7月28日から8月6日までの10日間、アメリカ合衆国ニュージャージー州グリーンロック町でのホームステイ及びニューヨーク州ハンコック町でのサマーキャンプを体験しました。

団員15名は、任命式後それぞれの目的に沿っての研修や班ごとの研修計画等の作成、更には英語、ホームステイでの過ごし方アメリカの生活習慣及び歴史と文化等の全体研修など、7回の

事前研修を行い7月28日の出発にのぞみました。

7月28日（よいよ）出発の日です。午前8時公民館前で穴戸町長、大和田議長、教育長などの町関係者、団員家族のみなさんに見送られ成田空港へ出発。空港に到着後、諸手続きを経て16時50分成田空港を離陸し、約12時間の長旅にもかかわらず団員15名元気に現地時間28日16時14分ニューヨーク空港に到着しました。

空港からはステイブンさん（クリスティン先生の夫）が準備した車で移動し、ニューヨークの市街地や広大な風景に興奮しながら、グリーンロック町の交流パーティー会場へ。ドアを開けるとグリーンロック町長、ホストファミリーをはじめ、小野町でホームステイを経験した多くの方々に迎えられ、手厚く準備された交流パーティーに全員感動しました。パーティーでは、バン・カレン町長の日本語での歓迎ス

ピーチから始まり、ホストファミリーのみなさんが準備された手作りの食事をとりながら、ホストファミリーとの対面や交流など楽しい時間を過ごし、その後それぞれ家族と共に会場を後にしました。

7月29日、ホストファミリーが計画した自由行動で楽しい時間を過ごし、翌30日は快晴の中、ポイントプレゼントビーチでの海水浴を楽しみました。31日、連日暑い日が続く中、ニューヨーク市内見学のため、午前8時にグリーンロック町を出発。まずはハドソン川河口にあるバッテリー公園に到着し、船でリバティーアイランドに渡り自由の女神を見学。午後からは、国際連合本部を訪問し、日本人職員の家内で安全保障理事会などの国連機関及び国連の必要性と加盟国の推移などの説明を受け、短時間でありましたが、世界の情勢と国連の役割について理解を深めました。国際連合本部を後にして向かったところは、マンハッタンの中心地であるタイムズスクエアです。世界各国の人々が行き交う賑やかな交差点を見て、アメリカのパワーを実感しました。

お礼の手紙を添えた贈り物と写真撮影は、見ている私にとっても深い感動を覚えました。

その後、ホストファミリーが見送る中、キャンプ場の車で一路ニューヨーク州ハンコック町ヒルトップへ出発。3時間後、キャンプ地に到着し、まずはそのキャンプ場の広さに驚きました。キャンピングに案内され、スタッフの指導により早速水泳テストから始まりました。キャンプでの生活はすべて英語で行われ、スタッフの説明を聞いて迅速な対応が求められました。当初、戸惑いもありましたが、スタッフの身振り等をきめた丁寧な指導と団員の積極的な姿勢により、水上スキー、ロッククライミングをはじめとするメニューに次々と取り組む、特別に組んだメニューも含め、予定されたスケジュールを全て終了し、8月5日の早朝、ニューヨーク空港へ向けキャンプ地を後にしました。

この10日間を振り返ると、グリーンロック町ホームステイでの生活は、アメリカ人の物の考え方、接し方などを肌で感じ、言葉や文化が違う人

たちとの交流は、団員一人ひとりの人生において大きな財産となりました。また、キャンプ場でのアメリカの子どもたちとの共同生活と、様々なメニューに挑戦したことは団員を大きく成長させ、有意義な経験になったと思います。

今回もサマーキャンプ中学生の翼の計画、実施に携わっていただきましたクリスティン（夫妻）グリーンロックの町長さんをはじめ家族の一員として迎えてくれたホストファミリーのみなさん、また、キャンプ場のビルさん、スタッフのみなさんに心から御礼と感謝を申し上げ、報告いたします。

（次ページから団員の研修報告）



クリスティン先生のご両親と鈴木団長（右）